

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	東京都手をつなぐ育成会 中央区立子ども発達支援センター放課後等ディサービス			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	96名	(回答者数)	54名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動の様子を細かくお伝えすることが出来ている。	・連絡帳にその日の出来事を詳細に記載し、送迎時にも申し送りを行っている。 ・通信を通して、毎月の活動内容の報告を行っており、どのような活動をしたのか写真付きで伝えている。	・引き続き日々の様子を知りたいだけるように継続していくとともに他に良い伝え方があるか模索していく。
2	安全計画研修の一つとしてRP研修を行っている。	・実際に通所している児童を想定し、事故や怪我等が起きた時の全職員の対応方法についてRP研修として取り組んでいく。実際に起きた時にイメージを持てるようにしておくこととそうならないためには普段からどのような点に配慮が必要カリスマネジメントの確認も行っている。	・RP研修については次年度も継続していく、様々な場面を想定した内容で取り組んでいき、職員の支援力向上に繋げていく。
3	利用児が安心してまた来たいと思える支援を提供できている。	・利用している児童が楽しく過ごしていただく中で身辺自立や社会性などが身に付けられるように一人一人に合わせた個別支援計画を作成し、支援を提供している。	・これからも利用している児童が安心して楽しいと思える空間の中で充実した活動が提供できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	トラブル（癪癩、体調不良など）が起きた時に他利用児へ影響しない空間又は本人がクールダウンできる環境を作る事に課題がある。	・活動室内で別対応できるスペースを作ることが難しいため。	・状況に応じて、2部屋ある活動室間での利用児の部屋移動やマットを活用した仕切りなどを検討していく。
2	災害時の施設の対応や避難訓練の実施状況等を保護者に知りたいなど機会が少ない。	・特にお知らせなどはしておらず、実施日の連絡帳に記載するのみだったため。	・通信などに実施状況を載せる等知ってもらう機会を増やしていく。 ・保護者会の時に報告をしていく。
3	家族支援について情報提供が足りていない。	・面談などを通して保護者からの相談には応じているが研修会などの情報収集の取り組みが出来ていなかった。	・研修会などの情報が入ったら保護者へお知らせをしていく。その他家庭での悩みなど抱えていた場合は相談に応じていく。